

真 心

学校教育目標（具体目標）

- 進んで学び考える子ども（知育）
- 思いやりのある子ども（徳育）
- 元気でねばり強い子ども（体育）

平成26年は「丑年（うし年）」です。うし年生まれの人は、「何事にも瞬時に動かず、熟考してからのっそりと動き出すタイプ。いざ動くことを決意するとまっしぐらに進み、最後には有終の美を飾るタイプである。」と、ある占いにありました。うし年生まれの人だけでなく、このうし年には目標をしっかり見据え、こつこつと取り組んで最後には大きな成果を残して終わりたいものです。私たち教職員は気持ちを新たに、子供たちが心豊かでたくましく成長できますよう精一杯取り組んで参りますので、引き続き御理解と御協力をお願いいたします。

図書と親しみ、読書の楽しさを味わおう

本校では、1月14日（火）～24日（金）を第2回読書週間として読書の習慣化に向けての取組を行いました。それらを紹介するとともに、読書の大切さについて考えてみました。

◆読書にはこんな良いことが…8つの効用◆

<p>1 より賢くなれる 読書によって一般知識が豊富になり、知力が高まります。</p>	<p>2 ストレスが軽減できる お気に入りの本を読むことで、気分転換が図れます。</p>
<p>3 心をより穏やかにしてくれる 読書は人を落ち着かせ、日々平穩に過ごすことができるようになります。</p>	<p>4 論理的思考を高めてくれる パターンを把握するスピードが高まり、分析スキルも高まります。</p>
<p>5 語彙が増える 日常生活であまり見聞きしない言葉も読むことを通じて目に入ります。</p>	<p>6 記憶力が向上する 読書を続けることによって、脳が活性化され、記憶力がよくなります。</p>
<p>7 書くスキルが向上する 語彙が増え、論理的思考が高まれば、それに伴って書くスキルも向上します。</p>	<p>8 目標の優先づけに役立つ 読書はそれまで自分が知らなかった自分を知るきっかけを与えてくれます。</p>

※観察、実験で実証されていることと予想域に留まることがあります。

読書週間での取り組みの一例

◇読み聞かせ



定期的に行っている「お話ポットの会」による読み聞かせに加え、図書委員及び教職員による読み聞かせも行いました。



【図書委員による読み聞かせ】



【教職員による読み聞かせ】

◇しおりコンテスト

手作りのしおりを使って本を読み進めることで、本に関心と親しみを抱かせ、より一層の読書量の増加をねらって行いました。

多くの児童がすてきなしおりを作成し応募していました。



◇親子読書のすすめ

1月号の学習指導だよりで、「親子で10分間の読書をしよう」と呼びかけた結果、多くの家庭で親子読書を楽しむことができました。

◇先生方のおすすめの本展示

いろいろな図書に関心をもち、読書の幅を広げてほしいとの願いから各教職員の愛読書を紹介しました。



